

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 289 号	氏名	木下 一美
学位審査委員	主 査	平山 謙二	
	副 査	高木 正洋	
	副 査	西田 教行	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、熱帯地域において公衆衛生上重要なウイルス感染症であるデングウイルス感染における感染病態に関連するウイルス側要因を分子レベルで解明しようとしたものであり目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 デング熱・デング出血熱の流行地域であるベトナム、フィリピンにおいて患者の了解のもと末梢血の提供をうけ、デングウイルス感染細胞と分離ウイルスを免疫学的手法、ウイルス学的手法、分子生物学的手法により解析した研究手法は妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、デングウイルスは患者体内で多様な集団として存在する可能性があり、本研究で分離したウイルス株はウイルス粒子表面に存在する E 蛋白質上に見られた 1 アミノ酸変異により感染細胞向性を変化させ、蚊細胞からヒト B 細胞系培養細胞への吸着性を大幅に増大させることを明らかにした。この研究はデングウイルスが蚊とヒトとの間で感染を繰り返すメカニズムを解明し、今後ヒトでの病原性発現機序を解明する研究への進展が期待される。 以上のように本論文はデングウイルスの生態及び病原性の研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			